

次世代交通ビジョンおきなわ（仮称）

【令和7年度 第2回 策定本部】

～骨子の概要～

1. ビジョンの位置づけ及び検討プロセス
2. 県民意見を踏まえた未来像
3. 県民意見を踏まえた未来像の実現に向けた課題

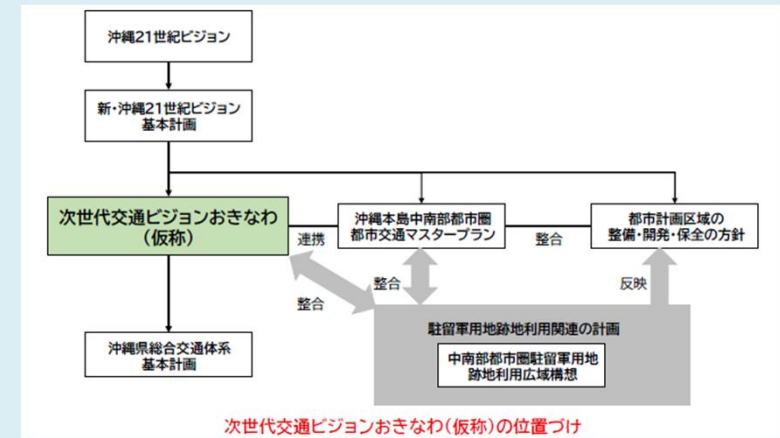
令和8年3月26日
沖縄県 交通政策課

1. 骨子の概要

(1) ビジョンの位置づけ及び検討プロセス

1. ビジョンの位置づけ

- ・次世代交通ビジョンおきなわ(仮称)は、「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」に即して策定されるビジョンであり、その成果は「沖縄県総合交通体系基本計画」に反映する。
- ・また、次世代交通ビジョンおきなわ(仮称)は、「沖縄本島中南部都市圏都市交通マスタープラン」や駐留軍用地跡地利用関連の計画と連携・整合を取りながら作成する。



2. 検討プロセスとステップ0・1の県民参画

- ・本骨子は、ステップ0・1の成果に該当
- ・県民参画として以下を実施

【オープンハウス】

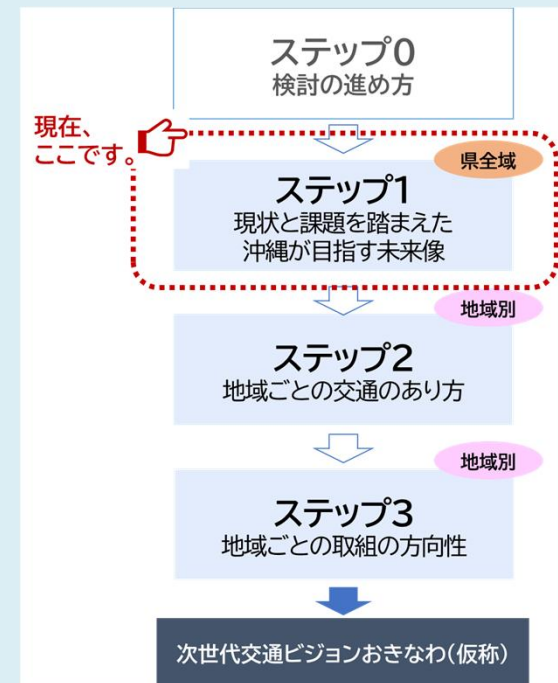
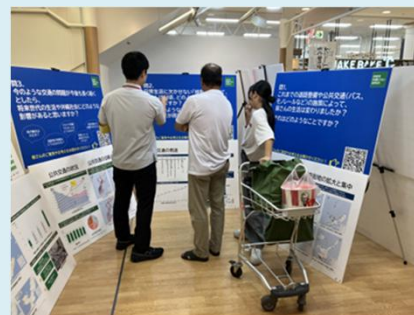
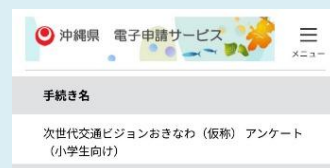
- －2025年11月～12月に開催
- －県内11か所で実施
- －延べ530人の意見を収集

【Web意見投稿フォーム】

- －延べ567件の意見を収集

【子ども・若者モニター】

- －35件の意見を収集



(2) 県民意見を踏まえた未来像

- ・沖縄21世紀ビジョンの将来像と県民意見から、「移動」を切り口として将来の姿を詳細化し、未来像を整理した。
- ・ステップ1で県として整理した未来像は、ステップ2で県民に提示し、必要に応じて修正する。

沖縄21世紀ビジョン 5つの将来像

- 将来像Ⅰ 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
- 将来像Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
- 将来像Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
- 将来像Ⅳ 世界に開かれた交流と共生の島
- 将来像Ⅴ 多様な能力を発揮し、未来を拓く島

未来像に関する県民意見

活動機会の確保に関する意見

- ・通院や通学などの移動
- ・買い物など生活に不可欠な移動

自己実現に関する意見

- ・学びや余暇・娯楽
- ・多様性のある社会

地域の活力に関する意見

- ・新たな文化
- ・経済振興や格差是正
- ・地域の自立性
- ・観光の発展と共存

安全・安心に関する意見

- ・日常生活での移動
- ・まちの安全
- ・県民の健康
- ・地域コミュニティ

社会の持続性に関する意見

- ・多様性のある社会
- ・歴史文化の尊重
- ・自然環境の維持
- ・地球環境の維持

ありたい将来の姿を、移動によって実現する社会を切り口に整理

活動機会の確保

(1)誰もが、場所や状況に関わらず、生活に必要な活動へ無理なくアクセスできる

多様な主体が、**住む場所**や**置かれた状況**にかかわらず、**通院や通学、買物など生活に不可欠な活動**を確実にこなせる状況が求められている

自己実現

(2)多様な活動にアクセスできることで、自分らしさや挑戦を広げられる

学びや余暇、交流などの**多様な活動**にアクセスできることで、**自分らしく生きがい**を持ち、**心豊かに暮らせる**ことが求められている

地域の活力創出

(3)人や地域が繋がることで、地域の力や魅力が発揮される活力を生み出せる

人の往来や交流を通じて、地域の個性や資源が活かされ、**経済や観光、歴史・文化の発展**や**地域の自立**が促され、地域の**活力がみなぎる**状態が求められている

暮らしの質

(4)質の高い移動が実現することで、安心安全な日常のもと、健やかさや交流を育める

事故や不安がない移動環境のもと、**安全・安心**に日常を営むことができ、**健康**や**自然とのふれあい**、**地域の繋がり**や**コミュニティ**が育まれることが求められている

社会の持続

(5)将来にわたって移動が支えられ、暮らしや活動を次世代へ繋ぐ地域を築ける

将来世代にわたり、暮らしや営みが無理なく**受け継がれ**、**地域の力**として積み重なる**持続可能な地域**が求められている

1. 骨子の概要

(3) 県民意見を踏まえた未来像の実現に向けた課題

- ・未来像の実現に照らして、今の交通システムが抱えている課題を整理した。
- ・また、将来の様々な状況変化が、こうした課題に及ぼす影響についても整理した。

(1) 交通システムに見られる課題

- ①移動時間の確実性の確保
- ②生活や活動の場へのつながりの確保
- ③安全・安心な移動環境の確保
- ④移動に伴う経済的・時間的負担の軽減
- ⑤状況に応じて選べる移動手段の確保
- ⑥人やモノが動く上での経済性の向上
- ⑦交通サービスの使いやすさ・分かりやすさの向上
- ⑧交通システムや地域の持続性の確保



平日混雑時における、車両の平均走行速度

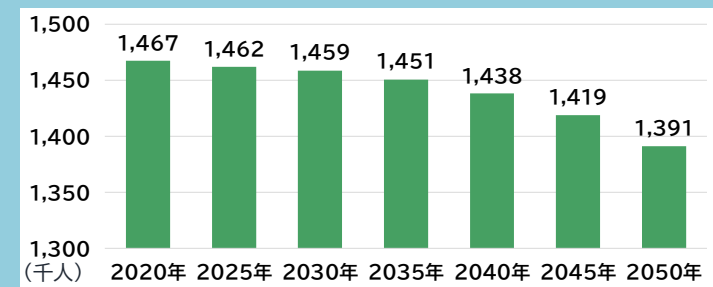


那覇市と他都市の、平日混雑時における車両の平均走行速度の比較

影響

(2) 将来の様々な状況変化によりもたらされる影響

- ①人口減少・少子高齢化が進んだ場合
- ②都市構造や土地利用が変化した場合
- ③観光需要の変動や移住の動きが変化した場合
- ④エネルギー価格や物価が大きく変動した場合
- ⑤新たなモビリティサービスが進展した場合
- ⑥気候変動、自然災害等のリスクが高まった場合
- ⑦移動需要そのものが大きく変化した場合



沖縄県における将来人口推計

参考) 令和8年度ワークショップの進め方の概要

- ✓ ワークショップでは策定プロセスの各ステップに沿って議論を進める
- ✓ ファシリテーターが参加者の議論を促し整理する
- ✓ その他の意見聴取(オープンハウス等)においても同様のテーマについて問いかけを行う

年度	ステップ	問いかけるテーマ	ワークショップでの議論のテーマ
R8	ステップ1 (フォロー)	未来像 交通のあり方	<ul style="list-style-type: none"> • 現状の交通課題、将来懸念される交通課題、大きな社会情勢変化が生じた場合の交通課題 • 提示された未来像(骨子)から漏れている論点がないか
	ステップ2	交通のあり方の複数案 付随施策 比較項目	<ul style="list-style-type: none"> • 未来像の実現のための交通のあり方の複数案 • 交通のあり方の複数案を実現するために実施が必要となる施策(提案) • 交通のあり方の複数案を比べるための視点(比較項目)
		交通のあり方の複数案の比較結果(案) 交通のあり方 地域別施策(素案)	<ul style="list-style-type: none"> • 交通のあり方の複数案の比較結果 • 交通のあり方(ベストミックス) • 地域別の施策案(素案) • 交通ネットワークのあり方
	ステップ3	地域別施策(案) 今後の進め方	<ul style="list-style-type: none"> • 地域ごとの取組の方向性 (公共交通ネットワークを実現する取組の検討) • 今後の進め方